

処置行為と医薬品チェックDB

■ 概要

- ・透析や手術等の処置を受けている患者さんに対し、注意が必要な医薬品が処方された場合にチェックを可能とするデータベースです。
- ・登録対象の処置は、透析（血液透析・腹膜透析）、手術（手術既往歴、手術創、術後回復期等を含む）、アフエレーシス（血液浄化含む）、放射線療法又は紫外線療法、電気ショック療法の5種類です。

■ 特徴・機能

- ・4段階のレベルでチェックが可能です。
- ・注意情報と理由を表示することが可能です。
- ・一般に術前に投与の中止を検討すべきである医薬品であるにも関わらず添付文書に手術前もしくは手術時の患者さんへの投与に関する情報がない抗血栓薬についてもデータ化しており、網羅的にチェックすることが可能です。

■ 目的・利用場面

- ・電子カルテにおいて、処置行為前後に処方可能かのチェックにご利用いただけます。
- ・電子カルテや調剤薬局システムにおいて、疑義照会・服薬指導時に参照用としてご利用いただけます。

■ システム、Web等での表示例

〇〇〇〇様		
〇月〇日生 〇歳 男		確認日 〇年〇月〇日
薬品名	1日量	投与日数
エパデールS600	3包	14日分
処置行為		
手術		





エパデールS600は手術に慎重投与の情報があります。

手術を予定している患者→慎重に投与する

※出血を助長するおそれがある。

医薬品ごとに処置行為に伴った注意事項を表示可能です。



詳しくはこちら：<https://www.data-index.co.jp/>

© Data Index Corporation